住宅改修が必要な理由書

〈基本情報〉

利用者	被保険者番号		年齢		生年月日		性別	男　女
	被保険者氏名				要介護認定（該当に〇）	要支援　1　2	要介護　経過的　1　2　3　4　5	
	住　所							

作成者	現地確認日		作成日	
	所属事業所			
	資格（作成者が介護支援専門員でないとき）			
	氏名			
	連絡先			

保険者	確認日	年　月　日	評価欄	
	氏　名			

〈総合的状況〉

		福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定	改修前	改修後
利用者の身体状況		●車いす	□	□
		●特殊寝台	□	□
		●床ずれ防止用具	□	□
		●体位変換器	□	□
介護状況		●手すり	□	□
		●スロープ	□	□
		●歩行器	□	□
		●歩行補助つえ	□	□
		●認知症老人徘徊感知機器	□	□
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか		●移動用リフト	□	□
		●腰掛便座	□	□
		●特殊尿器	□	□
		●入浴補助用具	□	□
		●簡易浴槽	□	□
		●その他		
		・＿＿＿＿＿＿＿＿	□	□
		・＿＿＿＿＿＿＿＿	□	□
		・＿＿＿＿＿＿＿＿	□	□

住宅改修が必要な理由書

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入して下さい。>

活動	①改善をしようとしている生活動作	② ①の具体的な困難な状況（・・なので・・で困っている）を記入してください	③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針（・・することで・・が改善できる）を記入してください		④ 改修項目（改修箇所）
排泄	□ トイレまでの移動 □ トイレ出入口の出入（扉の開閉を含む） □ 便器からの立ち座り（移乗を含む） □ 衣服の着脱 □ 排泄時の姿勢保持 □ 後始末 □ その他（　　）		□ できなかったことをできるようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他（　　）		□ 手すりの取り付け （　　） （　　） （　　） （　　） □ 段差の解消 （　　） （　　） （　　） □ 引き戸等への扉の取替え （　　） （　　） □ 便器の取替え （　　） （　　） □ 滑り防止等のための床材の変更 （　　） （　　） □ その他 （　　） （　　）
入浴	□ 浴室までの移動 □ 衣類の着脱 □ 浴室出入口の出入（扉の開閉を含む） □ 浴室内での移動（立ち座りを含む） □ 洗い場での姿勢保持（洗体・洗髪を含む） □ 浴槽の出入（立ち座りを含む） □ 浴槽内での姿勢保持 □ その他（　　）		□ できなかったことをできるようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他（　　）		
外出	□ 出入口までの屋内移動 □ 上がりかまちの昇降 □ 車いす等、装具の着脱 □ 履物の着脱 □ 出入口の出入（扉の開閉を含む） □ 出入口から敷地外までの屋外移動 □ その他（　　）		□ できなかったことをできるようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他（　　）		
その他の活動			□ できなかったことをできるようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他（　　）		